

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-107	中学校	美 術	美 術	2・3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	美術 116-83 美術 116-84	美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来		

1 編修の基本方針

心が動く、
その先へ。

— これまでも、これからも大事にしていること —

本教科書は、弊社が美術の教科書を発刊して以来、「発達の段階に応じた学びの大切さ」を重視して発行しています。

中学生という13歳、14歳、15歳に応じた成長を後押しできる美術の学びが重要と捉えています。



心豊かに、たくましく生きる 3年間の成長を後押しする“教科書”

予測困難な社会の中で次の時代を生き抜く生徒たちに必要なのは、豊かな感性を育みながら自ら課題を発見し、試行錯誤しながら解決方法を探り、新たな価値を創造する「美術の学び」です。本教科書は、中学3年間の発達の段階をきめ細かく分析し、各学年の資質・能力に合わせ生徒の成長に応じた3分冊として内容を構成しました。生徒が、持続可能な社会の担い手として、新たな価値を創造していく力を育んでいくことを目指しています。

基本方針 1

これからの時代を
生き抜く
資質能力を養う
“美術の学び”

中学3年間それぞれの発達に応じた造形的な見方・感じ方を示し、豊かな感性を育むことで美術科の資質能力を養うことができる教科書を目指しました。

基本方針 2

豊かな感性を育み、
創造する喜びを
実感する
“美術の学び”

表現や鑑賞の多様な活動を通して、創造活動の喜びや美術文化への理解を深め、造形的な視点を養い、生徒自身が成長を実感できる教科書を目指しました。

基本方針 3

生活や社会に豊かに
関わる
“美術の学び”

さまざまな作品や活動と出会い体験することで、生徒自身が自分ごととして受け入れ、多様な表現と価値観に触れられる教科書を目指しました。

これからの時代を生き抜く資質能力を養う“美術の学び”

中学3年間それぞれの発達に応じた造形的な見方・感じ方を示し、豊かな感性を育むことで美術科の資質能力を養うことができる教科書を目指しました。

学びの実感を持ち、深め、探求へと誘う表紙と巻頭オリエンテーション

第2学年、第3学年の生徒の発達を想定した学びの入り口を設定しました。

美術2・3上では、表現活動に試行錯誤しながら「見る」「感じ取る」「考える」ことを基本に、美術2・3下では、新しい見方・感じ方で新たな価値をつくり、創造的な人生の扉を開く作品との出会いを大切にしています。



▶2・3下
P.2~4
オリエンテーション

美術2・3下の巻頭オリエンテーションでは、広大な砂漠に設置された現代アート（オラファー・エリアソン）を取り上げ、表紙では同じ作家の異なる作品を掲載しています。エリアソンは環境をテーマに新しい表現方法で、見る者に問題意識を促します。様々な美術の表現に触れ、美術の学びを探求する姿勢を持ち続けてほしいと願っています。

さまざまな作品や表現を発信している人と出会い、美術の学びに気付き深めることの意味を知り、学習意欲を高める巻頭特設ページ

タブレットPCを効果的に活用

美術2・3上では、美術の学びを通して美しさを実感し、感動、発見を素直に表現できる巻頭ページを。美術2・3下では、美術の学びで得た力を社会に向けて発信することの意義を、自分のこととして深められる巻頭ページを設定しました。



▲2・3上 P.6~7 あなたの美を見つける
全国の中学生在が撮影した「私の見つけた美」

◀2・3下 P.5~7 社会に生きる美術の力
自分自身の見方や考え方を大切にする3名を取り上げました。

豊かな感性を育み、創造する喜びを実感する“美術の学び”

表現や鑑賞の多様な活動を通して、創造活動の喜びや美術文化への理解を深め、造形的な視点を養い、生徒自身が成長を実感できる教科書を目指しました。

作品への興味・関心、主体的に創作活動に取り組むことを促す題材設定

1年生で育ててきた造形的な視点（造形的な見方・考え方）に、思春期の生徒ならではののみずみずしい感性、新たな知識を加えて主体的に創作活動に取り組むことで、想像以上の能力が発揮されることがあります。伝統文化を学び、現代との共通点や違いを考え、自分ならではの表現に取り組む題材も設定しています。



▶2・3下 P.38～39 自分を表現する色

何ができるようになるか、何を学ぶのかを明確に示しました。

1年生の教科書と同じく、各題材では資質・能力の3つの柱から、生徒が養う力を「学びの目標」として設定し、「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「表現のヒント」を提示しています。

さらに、2・3年上と下の教科書では、生活や社会との関りを大切に資質・能力を育める題材を設定しました。

3つの柱を、本教科書では以下のように考えています。

知識及び技能

新たな見方・感じ方から造形的な視点を持って、表したい技能を身につけていくことができる。

思考力、判断力、表現力等

発想や構想する力を育み、造形の見方に変化が生まれ、生徒からの発信、対話、行動力につながる。

学びに向かう力、人間性等

興味関心を持たせ、さらに意欲的に活動させる働きかけをする。

学びの目標

形や色彩の特徴、表情やしぐさに着目し、動物の印象などをとらえ、材料や用具の特性を生かして表現する。

その動物の特徴やイメージをもとに、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。

動物の特徴やイメージをとらえて表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。

▲全ての題材において3つの柱を学習目標として設置

〈鑑賞の入り口〉 その動物らしさはどこから感じるのだろうか。

▲学習のはじめに意識してほしい発問を提示

造形的な視点

形や色彩の特徴、表情やしぐさに着目して効果を考えよう。

▲〈鑑賞の入り口〉での問いかけに対する見方のヒントを提示

表現のヒント

タブレットPCで構想を練る



タブレットPCなどで、つくりたい動物の骨格標本や筋肉解剖

▲表現活動における発想・構想の手立てや、技能の方法を提示

生活や社会に豊かに関わる“美術の学び”

生徒が、何をどのように表すのかという課題を自分のこととして受け止め、成長できるよう、多様な表現と価値観に触れられる題材を用意しています。

社会で、人々の活動を促している美術の力を実感します。

さまざまな分野で情報を発信し、人々の活動に影響を与えている人がいます。その人たちの発想や考え方には、美術で養う資質・能力が生かされていることを知ることで、自分の学びを積極的に深めていくことができます。

所ジョージさん
など3名を取り
上げています。

▶2・3下
P.5~7
社会に生きる美術の力



キャリア教育

その他においても、その道のプロの声から探求心が芽生えます。



▶P.35 コラム



▶P.45 コラム

SDGs、問題解決、地域社会に関わる題材

社会が抱える大きな課題を、自分たちの身近な課題に置き換え、プロセスを踏まえて改善方法を考えるなど、美術と社会との関係を実感しながら学びます。



◀2・3下
P.46~47
住み続けられる町づくり



▶2・3下
P.44~45
デザインで地域を豊かに

SDGsに関連する題材に表示

▶ 11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを守ろう

日本の四季、世界の工芸品と色彩を学ぶ題材や資料

日本の広い地域では、昔から四季の色彩を取り入れた造形があります。また、世界には色彩に特徴をもった工芸品があります。これらを学ぶことで、四季を楽しむ表現や生活を豊かにする色彩について興味を促します。



▶2・3上 P.32~35
日本の技と心を受け継いで



▶2・3下 P.59 世界の工芸品と色彩

他の教科にも関連する内容

19世紀後半に西洋で起こったジャポニスム（日本趣味）は、日本の開国、日本と西洋との交流と深いつながりがあります。美術で学ぶ歴史的な事項、表現テーマの設定や表し方は他の教科と関連する内容が豊富に詰まっています。



◀2・3上 P.30~31
日本文化との出会い

その他関連する教科や活動

- 道徳マークを関連する題材で掲載
- 生徒指導や体育、部活動、特別活動
- “言語能力”を育むアイデアスケッチや「作者の言葉」など、国語科に関する題材
- デジタルカメラや動画制作、コンピュータなど“ICT活用”
- ピクトグラムやポスターなどから“安全”“防災”“反戦”などの題材
- “地域を知り社会に奉仕”するなど共同制作の活動資料
- 世界各地の課題解決や、美術史などから“異文化理解”ができる資料

2 対照表

教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように、題材の設定や作品、写真の選択、文章表現などについて十分に配慮しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
オリエンテーション	一人一人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう、表紙の作品に関連させて紹介することで、2学年では浮世絵作品による学びへの深まりや、3学年では現代美術作品から環境問題も意識させ学びの探求心を促すページを設けました。(第2号)	2・3上 P.2~4 2・3下 P.2~4
あなたの美を見つけて	2年生からの美術の学びをより実感して深まる入口として、生徒たちの「美を見つけたページ」を設定。個々の個性を尊重し、自ら進んで意欲的に学習に取り組めるよう、タブレットPCも活用できるように設けました。(第2号)	2・3上 P.5~7
社会に生きる美術の力	3年生の学びのはじめに、美術の学びを振り返りつつ、幅広い知識と教養を身に付け豊かな情操を培うことができるよう掲載しています。所ジョージさんや、ロボット開発者、デザイナーから、美術の力が社会で生きている事例を提示しました。(第1号、第2号、第3号)	2・3下 P.5~7
教科書の使い方	教科書を通して、より学習しやすく活用できるよう紙面の説明や、学習する意義を掲載しています。(第2号)	2・3上 P.8 2・3下 P.8
本文・題材ページ	表現や鑑賞の全活動において、美しいものや優れたものに触れ、豊かな情操と道徳心を養うことのできる題材を掲載しています。生徒作品・作家作品や、発想構想の手助けとなる活動的な情景写真を取り入れて、健やかな身体を養う題材を掲載しています。(第1号)	全般
	表現や鑑賞の全活動において、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度や、自然・環境を意識した題材を通して、生命を尊び自然を大切にし、環境を意識した内容を掲載しています。(第3号、第4号)	
	日本の世界文化遺産や伝統文化・工芸に関わる題材を取り上げ、実際に表現・鑑賞することでそのよさを深く理解できるように工夫しています。(第5号)	
	我が国や諸外国の美術や文化に触れる機会を設け、その違いや共通点に気づき、それらを通して多様な文化を理解し、尊重する態度を養うことができる内容を設定しています。(第5号)	
学習に役立つ資料	作家のあらゆる作品や、様々なアートイベント、多様化する表現、日本や世界の伝統色を紹介する鑑賞資料を通して、幅広い知識や教養、自主・自立の精神を養うこと、伝統と文化を尊重することなどの態度が養われる情報を掲載しています。(第1号、第2号、第5号)	2・3上 P.50~64 2・3下 P.48~59
	表現活動をする上での基礎・基本となる技法や安全指導、また写真や動画撮影をする際に必要な著作権などの注意事項などから、正義と責任を重んじ個人の価値を尊重する態度を養うことができました。(第1号、第2号)	2・3上 P.50~64 2・3下 P.48~59

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ICT活用への配慮

全ての題材にQRコンテンツ「学びのはじめに」を設置し、タブレットPCなどICT機器を利活用しながら理解を深められるようにしています。また、タブレットPCの利活用を促す場面に「ICTマーク」を記載。二次元コードからICT機器を利活用して動画や資料を参照し学習を効果的に進められるよう、弊社ウェブサイトにも豊富なQRコンテンツを用意しています。

道徳との関連への配慮

教科書全体を通して表現や鑑賞する喜びを味わいながら、美しいものや崇高なものを尊重する心を育むことや、自己の理解、身の回りの人たち、家族や学校の人々を敬愛すること、我が国や郷土の伝統と文化を大切にすることなどと関連を図るとともに、特に道徳との関連があるページについては、マークと補足する文章を示しています。

保護者への配慮—家庭、地域との連携

美術科がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にも伝わるように配慮し、学校・家庭・地域の連携を示しています。

伝統文化、言語活動の充実、他教科との関連

美術の学習を通して学びを実感することができるよう、多くの本文ページで配慮しました。

特別支援教育への配慮

全ての生徒が等しく学べるように、UDフォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、カラーユニバーサルデザインの観点から編修を行うなど、特別支援教育の観点に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-107	中学校	美 術	美 術	2・3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	美術 116-83 美術 116-84	美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来		

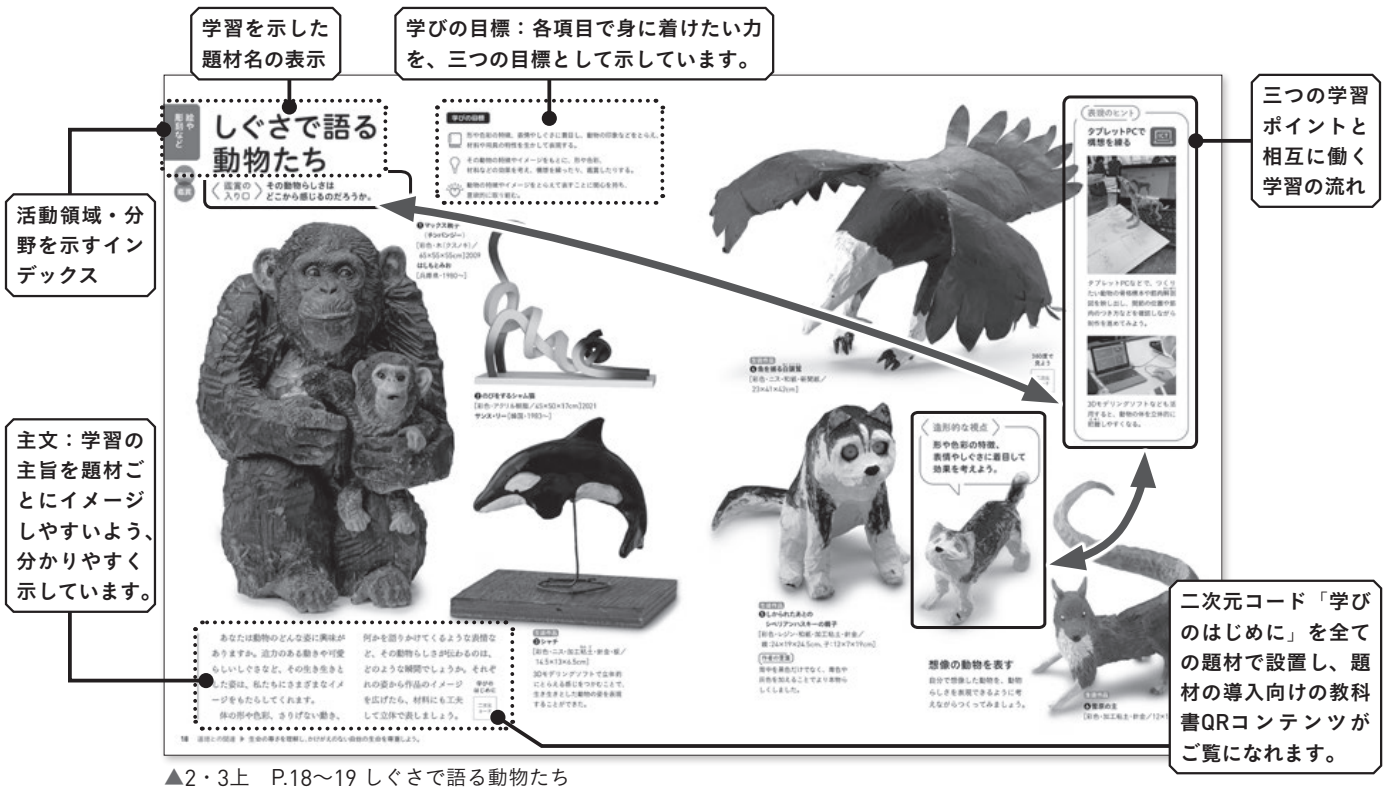
1 編修上特に意を用いた点や特色

▶▶ 特色① 授業と学びのポイントが見える

指導や評価がしやすく、授業の進め方がイメージできる

授業と学びのポイントを分かりやすく構成した紙面です。

題材は見開き（2ページ）構成を基本としました。インデックスや題材名、鑑賞の入り口、学びの目標を定位置に配置し、題材内容の把握と授業のポイントや進め方をイメージしやすくしました。主文は生徒が読みやすく、しかも掲載作品の鑑賞に適した位置に配置することで、学習のしやすさに配慮しました。



学習のポイント

〈鑑賞の入り口〉

活動に入る際に、その題材に掲載されている作品から、よさや美しさを感じ取り、気づいてもらいたいことを示しています。

〈造形的な視点〉

鑑賞の入り口での問いかけに対する見方のヒントを示しています。

〈表現のヒント〉

タブレットPCで構想を練る



表現活動において、発想・構想の手立てや、技能の手助けとなる内容を示しています。

その他学習に大切なマーク



タブレットPCなどを活用して取り組む内容を示しています。



短い時間で表すことができる作品を示しています。



注意しよう

作品をつくる上での安全面や、活動する際の注意点を示しています。



内容に関連するSDGsのゴールを示しています。

▶▶ 特色② 生徒の成長を支える教科書

中学校3年間の成長を後押しするための美術の学び

3分冊構成（美術1、美術2・3上、2・3下）の理由

中学生という13歳、14歳、15歳の心身ともに多感な時期こそ、発達に応じた成長を後押しできる美術の学びが重要と捉えています。

3分冊構成には理由があります。

【参照】学習指導要領 第2 各学年の目標及び内容

[第2学年及び第3学年の目標と内容] 3 内容の取扱い

学習指導要領に「第2学年と第3学年の発達の特性を考慮」と新設されました。特に、第2学年（14歳）から第3学年（15歳）へと進む過程で、「きれい」と「美しい」との違いを感じ取ったり、社会的な事象に対する興味の広さや深さが増したりするなど、生徒の見方や感じ方は大きく成長します。その発達の特性に則したねらいをもった題材を提供することが、生徒の成長に大きな役割を果たすことを考え、教科書を3分冊としています。

美術の学び
による
生徒の成長
ストーリー

美術1

1年生では、「**美術との出会い**」をテーマに、小学校までとは違い、美術との出会いにより新しい見方・感じ方を知り、新たな自分を形成していく姿を目指す構成にしています。

美術
2・3上

2年生を対象とし、「**学びの実感と深まり**」をテーマに、これまでの価値観が揺さぶられる中で、知的理解が深まり、美術の学びを実感する姿を目指す構成にしています。

美術
2・3下

3年生を対象とし、「**学びの探求と未来**」をテーマに、自己や他者の内面を見つめ、進路や将来を考える中での価値観に目覚め、未来につながる美術の学びを探求する姿を目指す構成にしています。



体の動勢や躍動感を表す題材。
360度QRコンテンツでも鑑賞できる。

◀2・3上 P.12~13
瞬間の美しさを形に



将来を意識する
3年生ならではの、自分と対話する題材。
5ページ構成で充実

◀2・3下 P.9~13
わたし自身を見つめて

両観音開きで、作品の醍醐味を知る

- 葛飾北斎「神奈川沖浪裏」を、通常より色数を増やし高精細印刷で、当時の状態に限りなく再現。
- 自然災害の脅威（池田学「誕生」）や、戦争への怒りを表した（ピカソ「ゲルニカ」）の鑑賞から、美術の力を考えるページ。

表現題材すべてに
発想・構想を促す
「表現のヒント」
を設置。

▶2・3上 P.35

▶2・3上 P.19

表現のヒント

タブレットPCで
構想を練る



表現のヒント

地域の専門家から教えてもらおう

和菓子職人や漆師など、伝統的な技を持つ人たちに直接話を聞いてみると、技の素晴らしさや携わる人の思いを知ることができ、伝統工芸への魅力を感じることができる。



見方・感じ方を養う作品図版や資料を充実。



◀2・3上 P.22~23
筆と水で多彩に表す

▶2・3上 P.52~53
暮らしに息づくパブリックアート



▶▶ 特色③ これからの社会につながる教科書

生活や社会との関連、他教科関連（カリキュラムマネジメント）、社会に開かれた教育課程

生徒自身のことや、生活や社会に生かし課題解決を関連させる教科書

2年生では、美術作品に対して空間の広がりや立体感、人目を引くためのデザインの力にも実感を伴います。さらに3年生になると、自己の内面に気づき自分自身を知り、自分を取りまく新しい視点で生活や社会を意識します。その成長過程に合わせて、関連した題材を豊富に盛り込んで構成しています。

自分と向き合い、自分を知る



▲2・3下 P.20～21
あなたのイメージを探そう

国際社会で形や色彩が解決している事例



▲2・3上 P.48～49
デザインの力でできること

その他の題材においても

- いつも使うものを意識した工芸（2・3上）
- 卒業を意識した工芸（2・3下）
- インクルーシブなデザイン（2・3上）
- 自然災害を美術の力で克服する作品鑑賞（2・3下）
- 文化財などの修復について考え話し合う鑑賞（2・3下）

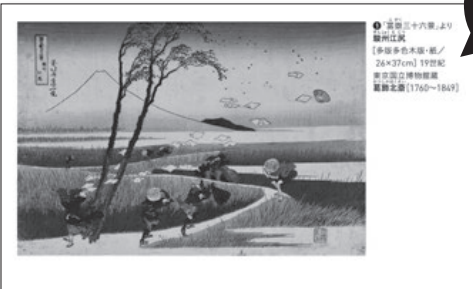
他教科と関連させたり、生活や社会に生かせる学びに配慮した教科書

キャリアマネジメントの実現を目指して、他教科や他の題材との関連を図っています。

巻頭と本文題材でも連携



▲2・3上 P.2～4 オリエンテーション



▲2・3上 P.24

社会科

その他

- “言語能力”を育むアイデアスケッチや「作者の言葉」を随所に掲載
- ピクトグラムやポスターなどから“安全”“防災”“反戦”などの題材
- 公共の施設から、“自然との共生”“持続可能な社会”の意識を持つ鑑賞題材
- “アイヌや沖縄”の民族衣装から、造形と文化を学ぶ

国語、特別活動、共同制作、ICT活用

特別活動、修学旅行



▲2・3下 P.32～33 仏像の姿に見る人々の祈り



▲2・3下 P.42～43 動きで伝えるメッセージ

本教科書の特色表

基本事項	教育基本法の遵守	・教育基本法第二条に示されている教育の目標を達成し、教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように、題材の設定や作品、写真の選択、文章表現などについて十分に配慮しています。
	学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された目標を受けて、全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮しています。題材は、学習指導要領を基に「表現」及び「鑑賞」領域のもと「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の3つの分野に分け、活動の内容を把握しやすいように示しています。 ・学習指導要領で示された目標に基づき、全ての題材において「学習の目標」を示しています。 ・（共通事項）は、「造形的な視点」とし、教科書全体で取り扱うとともに、活動と（共通事項）を結び付けられるように設定しています。また、より造形的な視点で身の回りや社会をとらえることができるようページレイアウトを工夫したり、学習を補足するための特設ページや資料ページも設けています。
	公正性	題材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断片的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを、十分に吟味・検証しています。
	正確性	検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統	発達の段階への配慮（小、中、高連携）	3分冊で発行することで、中学校3年間という生徒の発達の段階に十分配慮し系統立てた内容で題材を設定し構成しています。
	配列・分量	・地域や学校の実態に合わせて、題材を選択したり組み合わせたりできるよう工夫しています。 ・題材での学びを次の活動へ生かせるよう、題材に系統性をもたせています。
	主体的・対話的で深い学びの実現	・オリエンテーションのページにおいて、美術の学びに向かうメッセージを設けました。 ・＜鑑賞の入り口＞＜造形的な視点＞や「学びの目標」、教科書の使い方を共有し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫しています。 ・「作者の言葉」から生徒が自分の活動により主体的に取り組む、意欲的に学習が深められるようにしています。 ・生徒が考えを伝え合ったり、友達と相談したりしながら活動を行う様子を紹介し、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように工夫しています。 ・題材ページや資料ページに掲載している二次元コードによる教科書QRコンテンツを活用することで、学習に関心が高まり、さらに学びを深められるようコンテンツ内容に十分配慮しています。
	社会に開かれた教育課程・カリキュラムマネジメントの実現	・オリエンテーションや特設ページを設け、美術科で育む資質・能力について保護者や教科書を見る人たちと共有できるよう工夫しています。また、アーティストやデザイナー、著名人を取り上げることで美術が社会や生活の中で生かされていることを活用できるよう示しています。 ・社会問題や、地域文化、美術以外の分野の著名人も多く取り上げて、美術での学習が社会とつながっていることを示しています。 ・他教科と関わりのある題材を設定しています。
	言語活動の充実	・発想や構想、鑑賞など様々な場面で生徒がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を紹介しています。 ・「表現のヒント」や「作者の言葉」、アイデアスケッチを紹介し、形や色彩・言葉で思いを伝え合う活動を促しています。
現代的・社会的課題	社会の持続可能な発展（SDGs）	・持続可能な社会の担い手として成長すべき点や、生命の多様性・共生に関連する作家作品などを取り上げ、社会の持続可能な発展への関心を高める工夫をしています。 ・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、SDGsマークを掲載して関連させながら、生徒の発達の段階に応じて取り扱いました。
	伝統文化・多様性の尊重と国際理解	・伝統文化に関わる作品を多く取り上げ、また、伝統工芸や日本の伝統色、美意識などを取り上げています。 ・アイヌ・沖縄文化や、外国の作家作品、アール・ブリュットの作品を取り上げています。
	家庭や地域・社会への関心	・二次元コードから参照できる教科書QRコンテンツを豊富に用意することで、題材ページや特設ページにおいて、作品を家庭で使ったり、飾ったりするなど、個別最適な学びを提供しています。 ・安全な社会や防災の観点を造形的に捉えた作品やデザインの工夫などで紹介しています。
	人権への配慮	・あらゆる立場の作家や活動を紹介し、人との触れ合いや共生への意識を高める工夫をしています。 ・互いの活動や表現を認め合う姿を数多く紹介しています。 ・題材ページや資料ページにおいて、平和や人権に関わる作家作品やポスターなどを取り上げています。
その他	ICTの活用	・二次元コードを示している箇所には、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、教科書QRコンテンツを用意しました。二次元コードから直接アクセスすることができます。 ・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しています。
	他教科、道徳等との関連	・道徳の関連する題材に「道徳との関連」マークと内容項目を記載し、題材との関連性を示しています。また、他教科と関連付けて学習できる題材を豊富に用意しました。 ・他教科と関連して学習できるよう題材構成を工夫しました。
	特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	・すべての生徒が等しく学べるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。 ・拡大教科書を制作します。
	判型	・A4ワイド判を採用し、作品や写真をより大きく見やすく、インパクトを持たせて掲載し、生徒の興味・関心を引き出す工夫をしています。
文字・印刷・製本	・文字は、生徒に読みやすいよう開発された教科書体を使用しています。 ・重さへの負担を軽減するため、現行教科書（令和3年度版）よりも表紙や本文用紙の軽量化を図り、より良質のコート紙、マット紙を使用しています。 ・表紙は美しい光沢と耐水性のあるコーティングを施し、丈夫で水濡れに対しても耐久性があります。 ・人体への影響が少ない植物性インキを用いて印刷しています。	

2 対照表

2・3上

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			該当箇所
		A表現	B鑑賞	[共通事項]	
オリエンテーション	学びの実感と深まり		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	2~4
	目次・あなたの美を見つけて	(1)ア(ア)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	5~7
	教科書の使い方			(1)ア、イ	8
絵や彫刻など	現代美術にザワザワワッ!		(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	9~11
	瞬間の美しさを形に	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	12・13
	自由な視点で風景を見つめる	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	14・15
	写真表現の魅力	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	16・17
	しぐさで語る動物たち	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	18・19
	イメージを形にすると	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	20・21
	筆と水で多彩に表す	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	22・23
	浮世絵っておもしろい		(1)ア(ア)	(1)ア、イ	24~29
日本文化との出会い		(1)ア(ア)	(1)ア、イ	30・31	
デザインや工芸など	日本の技と心を受け継いで	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	32~35
	思いが飛び出すカード	(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	36・37
	空間を彩る光の装飾	(1)イ(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	38・39
	ひと目で伝わるみんなのデザイン	(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	40・41
	その1枚が心を動かす	(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	42・43
	つくる・使う・材料を味わう工芸	(1)イ(ウ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	44・45
	使う人の立場で考える	(1)イ(ウ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	46・47
	デザインの力でできること		(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	48・49
学びを支える資料	岡本太郎 “芸術はみんなのもの”		(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	50・51
	暮らしに息づくパブリックアート		(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	52・53
	立体を描く/遠近感を表す	(2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	54
	人物をつくる	(2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	55
	北斎の大波		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	56
	金属でつくる	(2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	57
	日本美術と世界の美術の歩み		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	58~61
	日本の伝統色		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	62
	色彩の特徴を深く知る		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	63
	写真で表現する	(2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	64

2・3下

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			該当箇所
		A表現	B鑑賞	[共通事項]	
オリエンテーション	学びの探求と未来		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	2~4
	目次・社会に生きる美術の力		(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	5~7
	教科書の使い方			(1)ア、イ	8
絵や彫刻など	わたし自身を見つめて	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	9~13
	芸術としての漫画表現	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	14・15
	空想の中の不思議な世界	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	16~19
	あなたのイメージを探そう	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	20・21
	光に気持ちを込めて	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	22・23
	あの日を忘れない		(1)ア(ア)	(1)ア、イ	24~29
	ルネサンスが目指したもの		(1)ア(ア)	(1)ア、イ	30・31
	仏像の姿に見る人々の祈り		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	32・33
どこまで修復すべきか		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	34・35	
デザインや工芸など	思いを込めた卒業記念品	(1)イ(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	36・37
	自分を表現する色	(1)イ(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	38・39
	魅力を伝えるパッケージ	(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	40・41
	動きで伝えるメッセージ	(1)イ(イ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	42・43
	デザインで地域を豊かに		(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	44・45
学びを支える資料	住み続けられる町づくり	(1)イ(ウ) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(イ)イ(ア)	(1)ア、イ	46・47
	さまざまなアートに触れよう		(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	48~51
	動画で表現する	(2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア、イ	52・53
	絵巻物の世界		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	54・55
	仏像の種類/美術文化の継承		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	56
	日本の世界文化遺産		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	57
オリエンテーション	受け継ぐ伝統と文化		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	58
	世界の工芸品と色彩		(1)ア(ア)イ(イ)	(1)ア、イ	59
	あなたへ 明日への巣立ち			(1)ア、イ	60